

第 215 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会の議事録

部会長 村山元理

日時 2018 年 1 月 23 日 (月) 18:00~20:00

場所 日本経営道協会・企業家ミュージアム (丸和ビル 2 階)

参加者 佐藤、宇佐神、古山、辻井、市川、緒川、望月、村山の 9 名

欠席届 新川

内容 市川覚峰 (日本経営道協会代表・千二百日行者) からの講演

- ・企業家ミュージアムの展示物の案内 ・企業家ミュージアム設立の目的—継承、発信、養成
- ・日本企業家殿堂ミュージアムの設立に向けて ・市川覚峰のプロフィール、活動実績
- ・「『再出発』のあり方—日本の企業家へのメッセージ」 (冬季修行報告) 平成 27 年 1 月
要するに、一、自己の人格形成、一、社内の人物づくり、一、社風づくり
(2 月 3 日の新年賀詞交歓会の講演会用)

配布物 市川—2 冊 (市川覚峰著『経営道心と道の経営 幸せ創造企業への道』致知出版社、『幸せ企業の作り方』企業家ミュージアム編)

佐藤—「これからの民主主義の話しよう」 (サンデル教授、読売新聞、2017 年 1 月 22 日)

質疑応答

・東西の思想を対立させるのはよくない、西洋は分析的、東洋は全体把握的とアプローチの違いはあってもそれは一面的である。北米で日本の久司道夫さんが唱導したマイクロバイオティクスがはやっている。思想の前に、食べ物が思想に影響している。食養や食事療法が西洋医学よりも健康維持に効果的である。西洋思想に対するコンプレックスをもつべきではない。

- ・山城経営学の K A E は米国連邦政府の採用基準と似ているが？
- ・人口減の中で、外国人違法就労者の問題はどうすべきか？
- ・なぜ山の修行に行かれたのか？
- ・会社の不正防止とドレッドウェー報告でも C I、コソレポートでも社風 (tone at the top) 作りについて。大垣市のカキ羊羹、老舗では代々の執事が当主をチェックしながら暖簾を守ってきた。
- ・言葉と言葉以外によって伝わる力とは何か？
- ・天皇陛下のお言葉の力 (退位問題、道徳的な権威の源泉)

今後の予定

2 月 27 日 (月) 18:00~20:00 日本経営道協会・企業家ミュージアム

- ・宇佐神 『限界費用ゼロの社会—〈モノのインターネット〉と共有型経済の台頭』 (ジェレミー・リフキン著, 柴田裕之訳, 2015 年) の紹介
- ・村山 『20 世紀の経営倫理』の目次の改定案検討、「南部塾での精神修養」

3 月 27 日 (月) 18:00~20:00 日本経営道協会・企業家ミュージアム

- ・辻井「石田梅岩と心学」